

議会だより



一般会計当初予算 131億700万円

前年度当初予算より10億円余減

予算の概要

国の地方財政計画の歳出の抑制基調を守りながら、お金のない自治体のために「地方再生対策費」を特別枠で作り、7年ぶりに地方へ出す金を増やしたがこれは応急的なもので、将来までの約束ではない。島根県では十九年度に「財政健全化基本方針」を作り二十年から「4年間を集中改革期間」と定め、行政の効率化、スリム化と事務事業を見直す。改革の影響は当然住民及び市町村財政にも及ぶ。

平成二十年度の特徴
予算規模は、十九年度より6・9パーセント減の131億700万円であり、

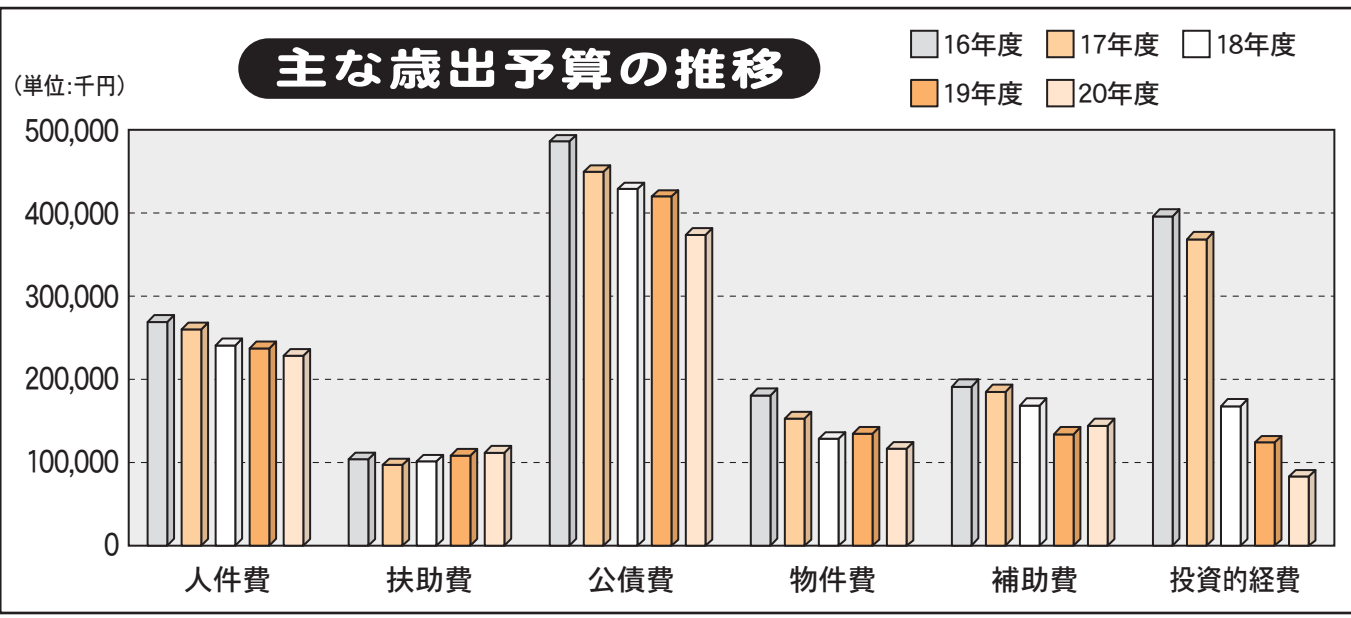
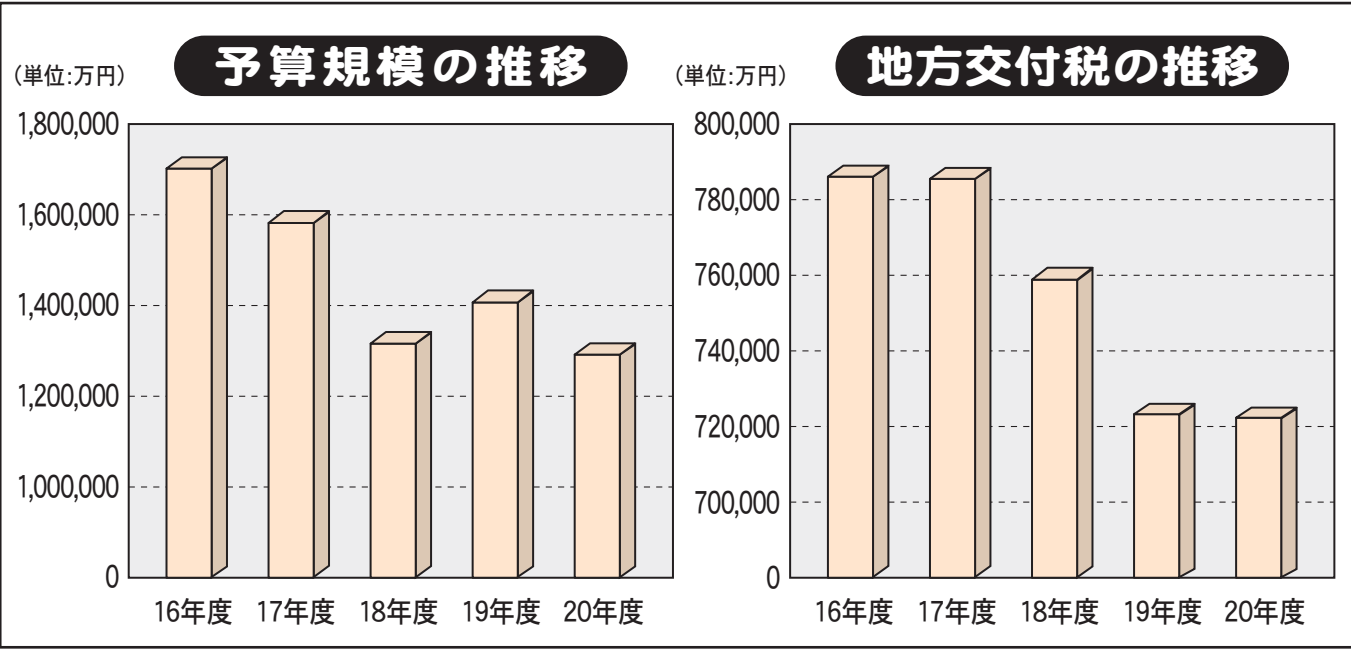
平成二十年度の4町村時代の決算総額より約10億円少なく、合併特例債の地域振興基金や災害復旧費を計上していてもなお町村合併後最少の超緊縮型予算となった。

改革の影響の回復は不可能である。実績見込額は普通交付税、特別交付税合計が72億3700万円を計上。

『計上収支比率は財政の弾力性を判断する指標で一般財源が経常的に支出される割合を示すもので、90%以上が危険ラインといわれる。二十年度は97・9%の見込み。』

全議案を原案どおり可決。

平成十九年度補正予算関係11件、平成二十年度当初予算関係15件、条例関係32件、工事請負契約関係1件、委託変更協定1件、陳情3件。
(一般質問は13名、総括質疑では15名の議員が質問。)



主な条例改正

- ◎ 隠岐の島町農業委員会委員定数条例 定数22人を6人減の16人とする。
- ◎ 隠岐の島町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する一部を改正する条例
- ◎ 監査委員、農業委員、教育委員の報酬、費用弁償などそれぞれ10%ずつ減額する。
- ◎ 隠岐の島町長25%、副町長20%、教育長19%それぞれの給与を減額する
- ◎ 隠岐の島町議会議員の報酬、及び費用弁償を10%減額する
- ◎ 行政組織の条例の一部を改正する条例 定任対策課に医師招聘に関する事項を追加する。



町長提案理由説明



熱心に傍聴する町民

反対討論

齋藤幸広議員

「隠岐の島町行政組織条例の一部を改正する条例」について反対する。

改正の内容は定住対策課を設置し、その所管する事務に医師招聘に関する事項を追加する。また町民課の事務に旅券事務に関する事項を追加する。

これまでも医師招聘（医師確保対策事業）については健康福祉課、今では保健課が取り組んできた歴史がある。それはこの課こそが、町民のための保健、医療、福祉の諸事業の充実を図る課とされたからだ。言い換えれば町民の命と健康を守る仕事をするのは現在の保健課である。

原理、原則をかなぐり捨てる町の姿は、町民には御都合主義、単なるパフォーマンスと映る。医師招聘については保健課の中で、保健、医療体制整備の基本理念を議論し、職員姿勢を確固たるものにしなければならぬ。地域医療がどうあるべきか語ることが出来なければ、お医者さんの心を動かすことは出来ない。困難な時こそ真正面から立ち向かうべきであり、町政の常道を進むべきである。



延納、強制執行及び利用停止など全庁挙げて個別に対応しているとのことである。委員からは、善良な住民の感情を考慮し、早急に結果を出すべきこと。滞納額全体を公開し納税意識を高めるよう努力すべしとの意見。更には、債権管理条例を制定して、滞納に対する統一的な行動基準を検討すべきとの意見が出た。徴収対策本部長である副町長に出席を求め、取り組みを強化するよう指摘した。

のうち5年以前の滞納額が1億円近くある。

歳出削減により、住民に多くの負担を強いている。委員からは、行革の進め方としてPDCAのようなフィードバック方式の提案や、一つの目標としてのプライマリーバランスを何年後に達成するか、行革後の町の姿は示せないかなど、地域づくりや産業振興の具体的なビジョンを示す必要があるとの指摘があった。

総務常任委員会

委員長報告

佐々木雅秀

審査の状況

審査した内容の主なものは次のとおりである。

「行政組織条例の一部を改正する条例」賛成多数で可決すべしとした。

●定住対策室を改めて、同対策課とし、定住対策に関する事項に加え、新たに医師招聘に関する事項を推進するもので、課付課長において専門にあたるものである。

●委員からの質疑
① バイオマス関連の企業誘致という重要課題があり、医師招聘を担当することで対応が不十分になる。
② 従来どおり医師招聘は住民の命と健康を守る保健課が担当すべき。
③ 町長や副町長と直結した形で動くべき。

執行部からの答弁

① 医療が定住対策の根幹にあるものと位置づける。
② 県からの医師派遣が極めて困難な状況下、独自の立場で全力をあげて取り組む。
③ 保健課と情報収集などで連携する。

●新年度から都万診療所の医師が常駐せず、隠岐病院においても医師を推進するもので、課付課長において専門にあたるものである。



ゴミで悲鳴の清掃センター

●コミュニティ助成は、昨年度に引き続き(財)自治総合センターが100%の助成で行うものである。地域の生活環境、運動会、文化、祭りなどを対象に、今年度は16件の自治会と区から申請があり、11件2250万円の内示があった。委員会としても積極的に活用するよう求めた。

●平成二十年度一般会計及び各特別会計予算並びに条例改正案
*全会一致で可決すべし

●家庭から出る古紙について、月1回無料収集することになった。本土に搬送してリサイクルするが、焼却量の減量化で、地球温暖化対策に資するものである。

●清掃センター及びクリーンセンターは、建設後15年及び20年を経過しており、今回長期的な更新計画が提出された。前者が5年間で約2億9000万円、後者が10年間で少なくとも6億円の整備費が必要である。委員からは、整備費の削減について質疑があり、平成二十年度に延命化実施計画を立てたり、民間委託への移行など事業費全体の削減を図るとの答弁であった。



20年経過のクリーンセンター

調査事項

●納税推進室
町税及び料金全体の滞納額は2月現在で約2億5900万円である。そ

教育民生常任委員会

委員長報告

高宮陽一

審査の状況

今定例会で付託された議案等の審査結果の主なものを報告する

●隠岐温泉GOKAの施設の利用者は大幅に減少し、燃料費の高騰等により維持管理費は増大している。施設も老朽化しており早急に民間委託か、廃止を検討すること。



老朽化がすすむ五箇温泉

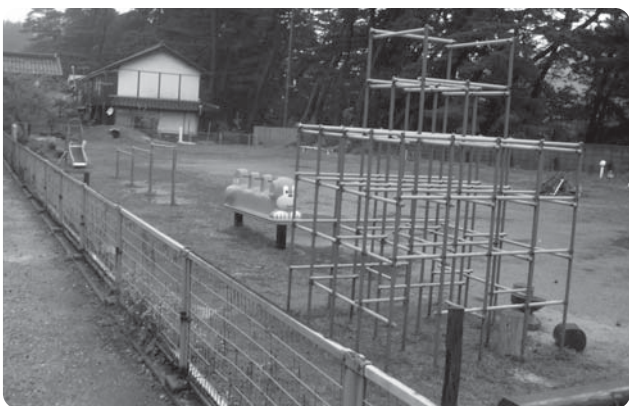
●介護予防事業の「はつらつサロン事業」「おたっしやデイサービス事業」は、事業評価・分析を行い、利用者の要望も参考にしながら利用者から期待されるような内容を検討すること。

●各保育所では、壊れて使用出来ない遊具もありブランコ・滑り台・鉄棒なども設置されてなく遊具の整備が不十分である。公平な保育サービスを提供し、より良い保育環境の整備は急務であり早急に対応すること。

また、保育料の滞納が年々増加しており対応が急がれる。口座振替が良いのか、保育所での徴収が良いか等も含めて検討し更に努力すること。

●今年から住民健診方法が大きく変わる。町民の健診は今までは役場が行っていたが今年

から国民健康保険・船員保険等の各保険者が加入者の健診を実施することになった。町民の健康増進のためにも関係機関と連携を密にし、町民が安心して健診が受けられるよう配慮すること。



遊具の少ない中村保育所

●妊婦健康診査は、昨年までは、町は2回まで支援していたが、今年から5回まで支援することになった。しかし、出産までには10回以上は健診に行く場合もあり、家計には相当な負担となるので少子化対策・子育て支援のためにも更に検討すること。

●今年4月から75歳以上の後期高齢者医療制度がスタートする。島根県後期高齢者医療広域連合と隠岐の島町は一定の役割分担はしているものの、制度の問い合わせなど町民に身近な役場の業務が煩雑となること

とが想定されるので町民に迷惑を及ぼさないよう職員の配置も含め万全な体制を構築すること。

●各診療所では、医師の確保が困難となってきたが、診療所が町民の心よりどころとして、しっかりとその使命を果たすよう、医師や看護スタッフの確保にあわせ、地域住民に対して出来るだけ診療が不均衡とならないよう配慮すべきである。

産業建設常任委員会

委員長報告

池田 信博

「全会一致で可決すべし」とした。

審査の状況

本定例会で付託された平成二十年度一般会計予算、各特別会計予算3件など、

●審査の結果は一般会計予算から隠岐の島町農業委員会定数条例、陳情案件、十二月定例会で継続審査となった陳情の各案件について、所管課長他関係職員の出席を求め慎重審議をしたので審査の結果等について報告する。

●審査の結果は一般会計予算から隠岐の島町農業委員会定数条例までは

誘客増をのぞむウルトラマソン



・隠岐一畑交通への運行費補助金(5153万円)が年々増加している。隠岐の島町地域公共交通会

議」を立ち上げ路線等の見直し、住民の利便性に関し、会議の日数を増やして協議をする必要がある。

・ウルトラマソンの取り組みは、メディアへの働きかけを多くし、取り組みを早め、参加人数500人を目標とした。

* 定住対策室

・奨学金貸与は予算上5名となった。多くの希望がかなえられるようにするべきだとの意見が出た。

* 農林水産課

・今津堆肥生産施設については、早急に解体すべきと指摘し、二十年度には解体に向け検討に入るとの回答を得た。

・隠岐空港除草で出た乾草は、その多くを闘牛協会に無償で渡しているが畜産農家への配分もするよう指摘した。

* 水産振興室

・新規の自営漁業定着支

援金貸付事業は、40歳以下のU・Iターン者に生活支援金として月額15万円を1年間貸し付け、5年間漁業に従事すれば償還免除をする制度で後継者育成に効果がある。

・町営宮の前団地建設事業は二十三年までに40戸を建設予定で今年度は実施設計業務を予算化している。建設場所も、協議するよう指摘した。

* 建設課

・寺の前公園管理委託は障害者施設等への委託も検討するよう指摘した。

・各支所間で町道の草刈等維持管理業務が統一した基準で行われていない。本庁も含め協議をするよう指摘した。

・コウノトリの情報発信が行われていない。ホームページに掲載すべきであると指摘した。

・公共下水道西郷処理区域は二十一年度供用開始

となる。加入率を上げるために無利子の貸付等制度を早急に検討すべきであるとの意見がでた。

・水道課
・滞納者に対しての明確な止水基準をつくるよう指摘した。

・五箇中央簡易水道について、第一水源はトンネルを掘ったことよって井戸が涸れた。代替井戸については補償費ではなく、井戸を掘って補償してもらおうように引き続き交渉するべきであると指摘。また、第二・第三水源についても協議を重ね、6月定例会までに方向性を出すよう指摘した。

隠岐広域連合議会報告

藤村 一男

施政方針の中で、新隠岐病院整備について、平成二十年度に基本方針を策定し、二十四年に現在地において新築開院を目指す方針が示された。

また本年四月から、広域連合事務局が、隠岐の島町都万支所に移転する報告があった。

本定例会に提案された各議案はいずれも原案のとおり可決された。予算額は78億1079万8千円で、前年度当初予算より1億7135万円の増額となっており、その主なものは、介護保険システムの更新費用、島前病院の電子カルテの導入費用等である。

また、今後5年間の行財政改革大綱が示された。改革の具体的な要点は、組織の効率化とスリム化の推進、病院事業の基盤強化と自立した運営体制の確立を掲げている。

町政を問う

一般質問



齋藤昭一議員

- * 自給できる島づくりを
- * 観光の目玉は食にあり
- * 定住観光の充実を

食材、大型店への供給、インターネット販売等、生産者の夢の実現に向けて指導していく必要がある。これらの施策の推進指導などの具体的将来構想を伺いたい。

議員 食料自給率が40%を切る中、隠岐の島は自給率を高めるために、隠岐の食の安全性確保、地場生産者の育成、農業への企業参入、農業公社再編などを急ぎ、給食の



観光客が喜ぶ隠岐食

「自給できる島」として、アピールしていきたい。議員 釜の佐々木家を出す隠岐の素朴な食事が好評と聞く。まずい食事の観光地は長続きしないと常々述べてきたが、今春から始まる五箇の古民家での食事も考えよ。

* ターミナルビルの新設を

* 隠岐広域連合構成団体負担金の見直しを



高宮陽一議員

議員 西郷港改修工事では、フェリー岸壁が35メートル前出しされターミナルビルはそのまま使用する考えであるが、島の利便性と観光振興の

町長 隠岐らしき、田舎らしさの「暮らし体験ツアー」を実施し、好評だ。観光客には不評の食の魅力には、地元関係者とメニューの共同開発等積極的に続けていきたい。

議員 定住者を増やすことは税増収につながる。経済的負担減になり、安く提供できる空き家を探せ。

町長 現在300件以上の空き家確認ができ、7件が提供できる。さらに取り組む。

ためにも、ターミナルビルも前に出して新たに整備すべきである。町長の考えはどうか。

町長 町として、今一度改築の必要性を県に願っている。

議員 期成同盟会を再編するとの事だったが、どうするのか。

町長 組織の再編を行い、新たに、地元住民を含めたワークショップで検討する。

* 定期観光バスの廃止経緯と対策は

* 町関連道の維持管理係の設置を



吉田十二議員

議員 合併時の最重点基本方針は、観光振興によ

であったが、ようやく見直しされ、隠岐の島町の負担も軽減されるはずであった。しかし、介護保険事業で新たに「保険給付費の実績を反映した負担割合」が新設され、隠岐の島町の負担は増額となり、4000万円余り余分な負担をすることになる。

町では、厳しい財政状況の中で、職員には人件費削減や早期退職を勧め、町民には各種補助金の廃止や利用料・使用料等の負担増を押し付け、更に保育所の廃止・学校統廃合を進めている。島前町村の支援をするような「保険給付費の実績を反映し

り交流人口の増加を図り、農林水産業をトータル的に振興するとしている。また、昨年「観光振興計画」を策定し、具体的な取り組みをしており、訪れた人にとって満足度の高い観光地づくりを目指して



改築が必要西郷港ターミナルビル

た負担割合」は早急に廃止すべきである。

町長 島前地区に対する配慮もあったので、今後、広域連合で問題提起をして議論する。

いる。しかし、平成十二年頃より観光客が大幅に減少し、隠岐一畑交通より平成二十年度から定期観光バスを廃止するとの通知を受けた。この定期観光バスの廃止については一方的な通告のみであったのか。また条件運行等の協議はなかったのか。

町長 廃止は一畑グループの企業決定であり、本

町としてはこれを尊重せざるを得ないと判断した。議員 定期観光バス廃止後の対応はどうするのか。町長 町内のタクシー事業者4社が、「乗合タクシー事業」として2名以上の完全予約制で五月一日から十月三十一日まで運行する予定である。

議員 町道及び農道の各所に浅い穴ポコが出来、バイク等の通行に大きな危険がある。小さな穴や歩道に生える雑草程度の処理は、役場内に道路維持係を設置して対応するべきではないか。



荒れる町道

町長 現在取り組んでいる行財政改革方針からも、直営での維持管理は行わず、業者委託により道路等の管理を行っていきたいと考えている。

*地域経済の活性化の方策は *町税等の徴収体制の強化を



米沢寿重議員

議員 地域経済は益々低迷しており、深刻な状況下にある。第一次産業を基軸に、地域特性をいかしたブランド化が不可欠となっているが、その方策はあるか。

議員 国が消費者基本法を改正して地方自治体に身近な相談窓口が重要視されている。2年前窓口開設が無理なら専門相談員の設置を要求したが、未だに、担当課の職員が対応している。どう考えているのか。

町長 一昨年県の消費者リーダー育成講座を受講した。既存の組織で啓発活動をし、被害の未然防止に対応したい。



最重要課題に取り組む町長

議員 国が消費者基本法を改正して地方自治体に身近な相談窓口が重要視されている。2年前窓口開設が無理なら専門相談員の設置を要求したが、未だに、担当課の職員が対応している。どう考えているのか。

町長 「森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業」の補助金獲得に向け、大手企業が提案を行っている。

議員 イワガキ養殖によるブランド化が定着しつつあり、販路の確立に努めている。

議員 バイオマス事業は国内初の抽出実証プラントとして注目をされている。企業誘致も含めた進捗状況は。

町長 「森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業」の補助金獲得に向け、大手企業が提案を行っている。



地域のブランド化を目指せ

*次期町政への覚悟は *消費生活専門相談員を設置せよ



安部和子議員

議員 合併以来激変する社会情勢の中で波乱万丈の3年6ヶ月であったが、益々リーダーシップが問われる正念場である。

町長は本年十月任期満了となる。首長としての腹を示すべきだ。

町長 合併時の最重点課題であった隠岐病院建設・企業誘致・学校教育の問題・次期高速船の確保・バイオマスタウン構想等々道半ばであり、引き続き、諸課題解決に取り組む責任を全うしたい。

の対策は。

町長 全国的な医師不足の影響から大変厳しい状況である。隠岐病院の体制については、医師の拘束時間の短縮など、労働環境を整えるとともに給与、手当てなどの待遇改善を検討し、どんなことをしても招聘したいと考えている。

議員 都万診療所の体制

は。

町長 自治医大の医師が1名減り、都万診療所の勤務医師がいなくなるが五箇診療所、中村診療所の医師、隠岐病院の医師による診療体制で、変則的だが実施する。

議員 医師招聘のため、町独自の対策は。

*医師招聘体制は本当にこれでよいのか *島の安全、安心、命の源、隠岐病院への思いは



藤田千鶴議員

議員 医師確保の為に課の強化を提言してきたが、今回の構想は担当課の変更としか見えなくもないが、本当に責務を果たせるのか。

町長 医師招聘が出来なかつた現実からすると甘

さがあつたと受け止めざるを得ない。保健課では島の医療対策を定住対策室において、医師を直接招聘する専門部局を置き、今まで以上に関係機関との連携を図りながら独自の招聘に取り組む。

議員 町長は住民と隠岐病院との信頼関係を築く架け橋としての様な対策を考えているのか。

町長 保健と福祉の強化を図りながら、どうあるべきかを皆さんの生の声

を聞く。町として重要な問題であると考えている。

議員 医師不足が島をゆるがすような問題であるように命の源、隠岐病院建設も重要な問題である。

入院・検査・診察の環境の悪さは信頼関係も半減し、働く環境は大きく医師招聘にも拘わる。二十四年開院に向けての独自の決意は。

町長 病院建設は責務であり、職責は果たす。二〇年度は基本構想・



新築が待たれる隠岐病院

計画作り、二十一年度は実施計画、二十二・二十三年度の2カ年で現在の場所での新築したいという事で調整していきたい。

*奨学資金貸与を広き門に



石田茂春議員

議員 隠岐の島町では毎年5人限定で、新規奨学資金を貸与している。申請者は年々増加傾向にあり、狭き門になっている。

学生達は夢と大きな希望を持って、羽ばたこうとしている。少しでも手助けをするためにも、広き門にすべきである。

人材育成の先行投資であり、将来の隠岐の島町を背負っていく若者を育てるためにも申請者の期待を叶えるような予算計



奨学金制度を利用しよう

町長 ここ数年間は、競争率が2倍から3倍と大変狭き門となっている。若い人材に支援することは、町の将来を担っていく人材育成の上で最も重要なこと、指摘のとおりだ。

新年度においては、厳しい財政状況であるが、意向に添えるよう広き門にしたい。

*町独自の医師招聘対策を急げ



眞野誠一郎議員

議員 今年四月から、隠岐病院においては、精神科の医師がいなくなり、自治医大の医師も1名減り、泌尿器科の医師も、九月でいなくなる。透析担当医師でもある。今後

議員 十二月中旬現在の町税等の滞納額は約2億6500万円で、非常事態となっている。悪質滞納者に対しては毅然とした姿勢で強制執行に着手すべきである。

町長 本年度は3件の差し押さえを執行した。誠意がないと判断したら、差し押さえを執行する。

***農業公社をどうするのか
*新エネルギー事業を進める
意気込みは**



齋藤幸広議員

議員 地産地消、自給率向上のために農地の維持は重要だ。そのための農業公社の役割について、又、財政にどこまで責任を持つのか。

議員 町税等の滞納者に
町長 農林課で今、公社と協議をしているところだ。



求められる農地保全

議員 町の重要課題として企業誘致、雇用、定住対策の中に新エネルギー事業を位置づけている。

町長 目的は森林管理を励行し、間伐材など木質資源からリグノフェノール樹脂チップなどを製造し、里山再生を図ること

***自主自立のための財源確保は
*納付の呼掛けを民間で**



池田信博議員

議員 地域産業の活性化、自主財源の確保・拡大を実現するための具体策は、町長 農林水産物のブランド化の推進によって、農林水産業の経営の安定化、木質バイオマス事業の導入による新産業の創出、バイオマス関連企業

議員 コールセンター誘致は民間人中心の組織を早急に立ち上げ、積極的に誘致活動をするべきだ。町長 県当局も離島での誘致実現に対する想いは非常に強く、当面は県と一体となって取り組んでいく。

町長 現在の体制で業務の進行管理を徹底し、財産の差押えにも踏込んでいくことで徴収率の向上に繋げていく。



活かせ木質バイオマス資源

***島の産業と若者定着の将来像は
*観光産業の戦略は**



中本憲昭議員

議員 「人が安心して住め

る町」と言えば医療・教育・福祉等々も大事なことはあるが、根幹にあるのは産業振興であり、島の産業振興が図られることにより、若者が定住し、島全体の活性化に繋がるはずだ。しかし、本



町長 日本は森林のモデルケースとなり、雇用対策としても期待されている。隠岐の島町ならではの産業として発展させたい。



設置なるかコールセンター

程度雇用）に取り組み、観光を基軸に交流、産業を創出する町を目指している。

議員 観光の振興は、交通業・旅館業・土産店・食堂等々幅広い分野に波及効果が大きく「感動を

与え、記憶に残る観光地」こそが求められている。3年間の対策・対応を踏まえ、5年・10年先の誘客目標数値と観光資源面での対応を、どのように考えているのか。



佐々木雅秀議員

***地域間格差をなくせ
*小中一貫教育の成果を生かせ
*分庁方式を提案する**

議員 行財政改革で地域格差が生じバランスが崩れている。見直しは。町長 財政危機を乗り切る為、現時点での見直しは考えない。

町長 当初計画では中村と布施の統合であった。



ゆれる中村小学校

地域の声は尊重する。議員 布施小中学校一貫教育は、学力・体力・挨拶・食育共に成果が著しい。継続すべき教育だが、教育長 統合で独自の教育はできなくなるが、統合で得るものも多い。



是津輝和議員

***病院新築に合わせ
「総合健診」体制の確立を**

議員 我が国の死亡原因で最も多い、「がん」撲滅のため、「がん対策基本法」が昨年四月に施行され、それに基づいた「がん対策推進基本計画」では5年後のがん検診受診率目

標が50%に設定されている。本町のがん検診受診率はいくらか。町長 胃がん6・7%、肺がん19・9%、大腸がん14・4%、子宮がん10・2%、乳がん8・1%だ。議員 早期発見の為に、受診率の向上が不可欠だ。国の目標の50%を達成するための対策は。町長 隠岐病院での受診、及び、土日や診療時間帯

の変更等、受診しやすい体制を整えていく。議員 四月からは40〜74歳以下の人を対象にメタボリック・シンドロームを対象にした「特定検診」が始まる「予防に勝る治療無し」と言われている。隠岐病院の改築整備に合わせて「総合健診センター」を併設し、がん検診と特定健診を合わせて行う「総合健診体制」を確立し、隠岐病院を核にした「保健、医療、福祉の連携強化」を推進すべきと思うが。



町では乳ガン検診は30歳から

町長 隠岐病院において、がん検診、特定健診の受診が可能だ。「安心して元気で暮らせる町づくり」

や、医師不足の折からも、「予防」に力点を置いた「保健、医療、福祉の連携」の強化を進めていく。

議員 課を支所に移動させ、分庁方式を提案したい。町長 現在考えていないが、支所の有効利用を含め活性化を検討したい。

博子良和春光士
信和憲輝茂義昌
田部上津田藤野
池安村是石遠小
一男二弘鶴秀広昭
陽一十光千雅幸憲
宮村田部田々木藤本
高藤吉安藤佐齋中

総括質疑

補正予算案・条例に 15名が質疑!

税金の収納状況

Q 質問 本年度の収納額、欠損額の予定額は。
A 回答 収納額・21億8493万円。滞納額・2億5900万円である。欠損額は1268万円。(二十年二月十五日現在)である。

財産収入

Q 未納繰越の内容と回収見込みは。
A 民間人に賃貸したものであり、確実に回収できる。

税源確保に伴う住民税の還付

Q 具体的な内容とその手続は。
A 平成十八年分の所得税が課税され、平成十九年分の所得税が非課税となった人が対象で七月中に申請していただく。
Q 申請というが、申請を忘れることもある。全員が恩恵を受けられるよう町からも連絡すべきだ。
A 漏れのないよう対応したい。

職員研修費促進補助金

Q 一人3万円、7人の頭打ち体制はおかしい。
A 必要な研修は職員自ら受けている。

町営住宅

Q 下西(宮の前団地)建設事業の具体的な事業内容は。
A 平成二十一年度から平成二十四年度までに40戸を建設する。
Q 入居者への説明はどうしたか。
A 現在、35世帯のうち25世帯の方の同意を得ている。

土地購入費

Q 土地単価の定め方は。専門家の指導だ。
A 専門家の指導だ。

隠岐の島町ウルトラマラソン

Q 今年のウルトラマラソンはなぜ日帰りとなったのか。一般財源(税金)を使っているが地域経済への波及効果は少ない。離島というハンデを活かし2泊3泊させることが必要だ。
A 参加者の要望等もあり、選択肢とした。
Q 参加者には好評というが、地元ボランティアの中には負担と感じている人もいる。早急に民間委託か廃止を検討すべきだ。
A 今後、検討する。

畜産振興費

Q 隠岐空港除草の飼料化について。収穫量はどれくらいか。
A 1回の除草で300ないし400個くらいで、年間1500から2000個だ。

消防費・施設維持管理費

Q 消防格納庫の維持管理費が、旧町村で違いがある。五箇地区では、格納庫を区が建設し、維持管理費も負担している。西郷・都万・布施では、行政が建設し、維持管理費も

清掃管理費

Q 放置車が目につき、景観を損なっている。法的処置はとれないか。
A 公道等に放置してある車は、所有者が確認できれば法的処置がとれる。確認できない車は、本年も予算計上して処分する。私有地に放置してある車は法的処置が難しいので、所有者に処分を依頼する。



気になる放置車輛

環境モニター事業

Q 不法投棄のみならず道路等の不具合も見回るべし。
A そのように依頼する。

環境対策費

Q 諸分析結果は住民の安心の為、公表すべし。
A そうしたい。

名田地区環境整備費

Q 昨年減額の質問をした際、地区と協議することの答弁であったが、同額の予算計上がされている。協議はされたのか。
A 地元と協議した。当初60万円の協定を交わした時期とは財政事情が大きく変わっている事は理解されているが、周辺整備が完了するまでは白紙にできない。

地域水産振興事業費

Q 十九年度の町内漁獲高は50億円と聞く、水産業はいまも町の基幹産業である。目玉のない今年度予算の中で新規に自営業者支援事業があるが、



後継者不足の水産業

その内容は。
A 新規自営漁業者に対し、資金貸し付けを行い漁業定着を促す事業で五年間漁業に従事すれば償還免除される。40歳未満の者が対象となり、月額15万円、年間180万円を貸し付ける。今年1名を予定している。
Q 漁業者の高齢化も進んでいる。1名といわず年齢も含めて、枠を拡げる考えはないか。
A 今年1名で対応し状況を見たい。

県営道路事業負担金

Q 県事業の負担金は町の負担能力にあわせて決める考えか。
A 町の負担能力で県と事業費を調整している。

教育指導費

Q 建設業に従事している若者も多くなる。3年先には雇用対策が必要と思われるが。
A 財政計画と調整しながら進めたい。

教育支援センター管理費

Q 島根県学力調査事業負担金の内容は。
A 事業費は98万円で町の負担はその2分の1である。
Q 県下の小、中学校の学力が低下しているが、その要因と今後の対策は。
A 授業時間数でなく家庭における学習時間の確保、規律ある生活習慣の確立が必要である。

AED設置事業費

Q AED増設とBLS取得の考えは。
A 全職員がAED操作を研修したい。



屋根替えが必要な佐々木家

Q 教育支援センターの事業の内容について。
A 教育支援センターは長期間にわたり欠席して

学校給食センター管理運営費

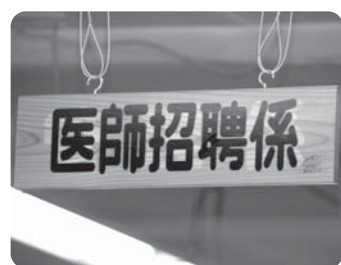
Q 各給食センターの統合が遅れている訳は。
A 計画では布施給食センターは廃止の予定であったが、学校統合に併せて廃止とする。都万給食センターは都万・那久小学校の統合が前提で二十二年三月の予定である。

佐々木家住宅管理運営費

Q 佐々木家の杉皮屋根押し竹取替えの理由は。
A 竹が腐り、雨漏りの心配と、石が落ちる危険を防ぐ為である。

定住対策に医師招聘に関する事項の追加

Q 医療、保健、福祉の事業の中で、医師確保対策に取り組んできた保健課から医師招聘の仕事だけを何故切り離すのか。
A 隠岐病院の医師が不足するという中で精神科医は七月から常勤医がいなくなると、二月になって県から知らされた。離島では医師の招聘は



定住の根幹 島の医療

町が負担している。合併して3年半だが不公平ではないのか。
A 早急に検討し、九月定例会までには結論を出して報告をする。
Q 十八年度は歯科医の派遣を奈良医大の教授に頼みに行った。また松江での医師確保対策会議に出席した。
A 広域連合とも連携して取り組んできた。

GOKA温泉管理費

Q 運営費に一般財源千二百万円強支出している。早急に廃止、存続の検討をするべきだ。

A 行財政改革年度を一年早めて二十年度に存続廃止も含めて検討する。

図書館管理運営費

Q システム更新の見積もり依頼は島内業者か。

A このようなシステムを構築した場合にはという内容で島外業者にお願した。

Q 島内業者で入札してシステム更新が出来るか

後期高齢者医療に 関する条例改正

Q 医療制度が十分に理解されていない。地域に掛けて周知を図るよう

航空機利用対策事業費

Q 二月一日より出雲ー隠岐12便の欠航を決めたとの誤報道をいつ知ったか。

A 三十日午後の新聞で判明し、町の放送で当日の夜間及び三十一日の朝訂正の放送をした。

Q 誤報道記事についてマスコミに訂正記事の掲載を依頼したか。

A 翌日訂正記事が掲載された。

観光使用料

Q 隠岐郷土館、創生館の施設入館料の見込み減の積算根拠、理由は。

A 大幅な入館者の減による。



隠岐郷土館古民家

Q 減だというのに隠岐の島町の宣伝アピールの為のパンフレット、しかも業者用にも掲載されていないのはなぜか。

A 手落ちであり、至急対処する。

布施海岸見廻り監視

Q 巡視コースは、月何回見廻りしているか。又委託先は。

A 6コースあり、月8〜9回。年104回見廻りしている。委託先は布施区である。

Q 油高騰の為予算増を考へては。

A 今のところ考へていない。

農業総務費

Q 今津地区堆肥生産施設の今後の使用見込みは。

A 本格的な使用の見通しはない。

Q 毎年20万円が支払われている。すぐにでも解体撤去するべきでは。

A 補助事業で設置した施設であるので、廃止の方向で県とも協議したい。

私立保育所運営費

Q 新ファミリースーパーセンター運営委託費の説明を。

A 共生学園第2保育所の支援センターにおいて規定のもと、子供を預かる人と預けたい人との橋渡しを行う事業である。

簡易水道施設管理費

Q 上水道施設の下刈賃金が計上されているが、職員でやれないのか。

A 十九年度は五万円使用した。今年度は、職員が一名減になるが、何とか職員でやるようにしたい。



水源施設

衛生費

Q 隠岐広域連合負担金

A 隠岐病院整備費が約53億円と試算されている。他の同様な事例では、当初計画の半分以下に圧縮されている。二十年度に基本方針・基本設計に入るが努力せよ。



夜間保育のスタート

都万診療所衛生材料費

Q 都万歯科診の技工委託料が、五箇歯科と比べて倍以上高いがその訳は。

A 五箇とは患者数や技工件数は、ほぼ同じだが、診療方針の違いにより単価が違うのが原因。

公共下水道整備事業費

Q 整備費と維持管理費を合わせて一般財源からの持ち出しが増えて財政上問題だ。加入率を上げる

A できるだけ安く建設するよう町としても調査していきたい。

児童扶養手当給付金

Q 母子家庭のみが対象になっているが、父子家庭に支給する考えはないか。

A 島根県では雲南市、奥出雲町、四月から出雲市が月額5千円を助成している。本町では厳しい財政状況で制度を作ることは考へていないが、今後の県下の様子を注視したい。

隠岐の島町医療対策特別委員会を設置

本町の課題である医師招聘、病院建設について調査研究をし、医療の充実を図るため、隠岐の島町議会に『隠岐の島町医療対策特別委員会』を委員7名で設置するよう議決した。

- 委員長 司 広士重昭 良弘
- 委員 政 幸昌 寿憲 憲光
- 委員 田 藤野 沢本 上部
- 委員 吉 齋 小米 中村 安
- 委員長 池 田 信博
- 委員 副委員長 委 委 委 委 委

報酬・定数調査特別委員会報告

委員長 池田信博

議員報酬については、本町の厳しい財政状況、経済不況等、町の状況に鑑み、平成十九年度と同じく、議長、副議長、常任委員長、議員それぞれ、削減率を10%程度とした。実施期間は平成二十年四月一日から平成二十一年三月三十一日までの1

また、次回選挙より16名となるが、報酬については、議員活動も更に増える事が予想され、総体的に全国平均、県下の類似団体と比較すると、必ずしも高いレベルでないことから、報酬の増額を検討すべきとの意見があった。

隠岐空港・航路対策特別委員会

委員長 藤田千鶴

委員会は議会閉会中、会期中2日間に担当課の出席を求め、隠岐空港・隠岐航路の利用状況及び取り組み等について意見交換を行った。

(1) 隠岐空港の利用促進

1、ジェット機就航 JAL社内決定ではあるが七月十八日〜八月三日の45日間運行予定である。

羽田対策・チャーター便も含め今後徹底した集客戦略が必要。

2、出雲・大阪便の利用状況

二月現在、大阪便は搭乗率66・5%、出雲便55・7%と現状は厳しい。大幅な支援費の減額予想、料金の値上げと今までの以上に関係機関と強力な連携のもと誘客体制を整える必要性がある。

(2) 隠岐航路の利用 (隠岐汽船関係)

隠岐の生活路線、産業振興において早急に検討すべき最重要課題である次期高速船整備方針検討状況の報告をうけた。

当委員会でも独自に聴取した隠岐汽船の意向は、再生計画に基づいた経営改善の最中であり、フェリー3隻体制を継続する為にも特別整備を受けたことの事。

委員の間でも寄港地問題もあるが、まずは、ジェットフォイルは隠岐に適しているのか、



島民の足 レインボー2

工事請負関係

◆十九災 久見20号線

地すべり災害復旧工事

○請負者

(株)日本海技術コンサル
タンス

○契約額

6814万5千円

○工事内容

抑止杭工12m×51
本、排水ボーリング一式、
舗装工事一式。

委託変更契約

◆隠岐の島町公共下水道
西郷浄化センター建設
工事

○受託者

日本下水道事業団

○委託額

19億3130万円

○変更後金額

17億円

○変更理由

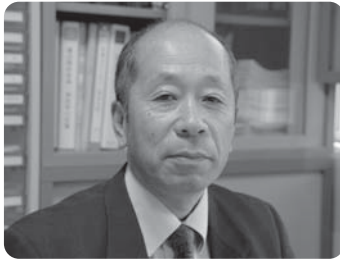
工事の入札差金及び
詳細設計による減額に
より必要となった。



工事中の浄化センター



完成した塩口宮田線
くんだ



議会事務局長 大上 博人

4月の人事異動により
着任致しました。
どうぞよろしくお願
いします。

請願・陳情等審査結果表 (平成20年第1回 隠岐の島町議会定例会)

番号	件名	要旨	提出者	委員会における 審査結果
(H19年) 陳情 第9号	健康保険でよい歯科医療の 実現を求める意見書採択に 関する陳情書		島根県保険医協会 会長 古沢 正治	採 択
(H19年) 陳情 第10号	森林の整備、林業・林産業の 振興に関する意見書採択に ついで陳情書		島根森林管理署分会 執行委員長 深田 浩嗣	趣旨採択
(H19年) 陳情 第11号	後期高齢者医療制度の抜本的 見直しに関する陳情書		島根県社会保障 推進協議会 代表 池淵 栄助	不採択
(H20年) 陳情 第1号	自主共済制度を保険業法の 適用から除外するよう求める 意見書採択に関する陳情書		共済の今日と未来を 考えるしまね懇話会 代表 古沢 正治	継 続
(H20年) 陳情 第2号	う回路の確保及び安全対策に 関する陳情書		東郷地区区長会 富会	継 続

編集後記

東京中央線の電車が
7時間にわたって止ま
り、50万人が影響を
受けた。人口密集地、
大都会の宿命だ。

高速艇レインボーは
たびたび、フェリーの
欠航も時々、その都度
物流は滞り、人々の足
は止まる。やはり離島
の宿命か。

全国的な医師不足は
地方、とりわけ離島に
とっては深刻だ。これ
も宿命と受け止めて済
ませる訳にはいかない。
島民の命と健康を守
るため昼夜を分かたず
努力をしているお医者
さんや医療現場の皆さ
んには、頭が下がる思
いだ。

医師招聘に奔走して
いる方々の苦勞を思う
と広報編集の苦勞など、
比べるべくも無い。更
に良い紙面にしようと、
皆の顔が引き締まった。

(文責 遠藤)